

観点別評価シート

	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
問1	B+ α (例) Bに加えて、提示された4つの観点すべてに関して、メリットまたはデメリットを記述している など	高福祉・高負担, 低福祉・低負担のメリット・デメリットを各1つずつ記述している 知識・技能	Bを満たしていない Bにするための手立て (例) ・高福祉・高負担を実現するには、財源が必要であることを理解しよう。また、現役世代が税や保険料を多く負担することを理解しよう ・低福祉・低負担は、税や保険料負担を軽減できる一方、社会保障給付が減少し、生存権の保障が難しくなる可能性があることを理解しよう
問4	B+ α (例) Bに加えて、様々な立場に配慮した、実現可能で具体的な政策を提案している など	公正さや持続可能性, 先哲の考え方などの見方・考え方を働かせて考察し、自分の考えを記述している 思考・判断・表現	Bを満たしていない Bにするための手立て (例) ・自分の提案によって不利益を被る人はいないか (公正), 将来の世代に負担を残さず制度を維持できるか (持続可能性) などに着目して考えてみよう
	B+ α (例) Bに加えて、複数の資料やデータを比較、分析する、自分の意見と対立するデータを用いるなど、自分の論により説得力を持たせる工夫をしている など	財源などの面で実現可能性のある提案を、根拠となる資料や数値などを用いて記述している 知識・技能	Bを満たしていない Bにするための手立て (例) ・自分の意見を記述する際は、それを裏付ける資料やデータを提示し、説得力を持たせよう ・具体的な政策を提言する場合、それが本当に実現できるかを考えよう

注：A…Bの中でも群を抜いているもの(B+ α)

B…この問題で達成したい到達目標

C…Bを満たしていないもの。Bを実現できるように具体的な手立てを行う